

令和8年度 事業計画書

1. 基本方針

我が国の経済情勢は、賃金の上昇や個人消費の底堅さにより緩やかな回復基調にあるものの、長引く物価高騰や国際情勢の不安定化を背景とした原材料費やエネルギー価格の上昇が市民生活や企業経営に深刻な影響をもたらしており、当センターの事業運営を取り巻く環境はかつてない転換期を迎えています。

こうした中、豊かな経験と技能を持つ高齢者が、地域社会の担い手として活躍するシルバー人材センターの役割は、単なる就業機会の提供に留まらず、孤独・孤立の防止や健康寿命の延伸、ひいては多世代共生社会の実現を支える基盤として、その重要性が一段と増しています。

当センターでは、こうした社会情勢の変化を的確に捉え、令和6年度からスタートした「第5次中期計画」の3年目となる本年度、中期計画の基本方針である「いきいきと集い、のびのびと働ける金沢市シルバー人材センター」の具現化に向け、計画の折り返し地点として、過去2年間の実績と課題を評価した上で、計画目標の達成を推進します。

まず、最大の懸案事項であったフリーランス法施行に伴う新契約方式への移行については、前年度までの準備期間を経て、本年4月より運用を開始いたします。法律の趣旨を正しく遵守し、会員の権利保護と就業環境の適正化を徹底するとともに、発注者に対しても新方式の意義を丁寧に周知し、円滑な契約履行と信頼関係の維持に努めます。また、これに伴うインボイス制度への対応を含め、適切かつ効率的な経理により、センター財務の健全性維持に最善を尽くします。

センター運営の根幹というべき会員数の確保については、引き続き人口比率からも伸びしろが期待される女性会員の拡大に重点を置くとともに、社会の定年延長が進む中、幅広い年齢層の会員がそれぞれのライフスタイルに合わせて活躍できる多様な就業環境等の整備により、退会を抑制するとともに新たな会員を獲得する体制の構築を目指します。特に、会員満足度の向上と事務局の業務効率化を図るため、デジタル技術を活用した迅速な情報提供と事務手続きの簡素化を推進し、会員がストレスなく業務に専念できる環境整備を進めます。

地域貢献においては、金沢市や市内の高齢者福祉団体等と連携して「地域に必要とされる事業」の展開を通じ、市民からより一層信頼される組織を目指します。

また、地震および豪雨災害からの復旧・復興が道半ばとなっている能登地域の各センターへの協力・支援に引続き努めていくとともに、石川県連合会並びに県内各センターとの連携を深め、活力ある地域社会の形成に寄与してまいります。

2. 重点事業

(1) 第5次中期計画の具現化

令和6年度から令和10年度までの5か年を計画期間とする「第5次中期計画」の具現化を進める。計画3年目である令和8年度は、新契約方式の円滑な開始と定着のため事務局体制の充実、「Smile to Smile」等を活用したデジタル化の推進、会員確保・拡大に向けた組織力強化のための各専門事業部・地区連絡委員会の活性化に取り組む。

(2) フリーランス法施行に伴う新契約方式の円滑な開始と定着

年度当初から開始する新契約方式を円滑に定着させていくために、会員、発注先への周知、説明を丁寧に行い、理解と協力を得ながら確実に定着を図っていく。

(3) 会員の確保・拡大

第5次中期計画に基づき、全シ協が新たに掲げる「新たな仲間づくり計画」の指針を参考に会員数を回復させることを目標として、会員の確保に向けた各事業を推進するとともに、既存会員の満足度向上を図りながら退会防止のフォローアップ体制を強化する。会員拡大に当たっては、引き続き拡大の余地が大きい女性会員の確保に重点的に取り組む。

(4) 就業機会の拡大

幅広い年代の会員がそれぞれのライフスタイルに合わせて活躍できるよう、希望する就業先の開拓を推進し安定的かつ良質な雇用機会の確保を図る。特に高年齢層や女性の会員が安心して活躍できる環境を整備し、無理なく働き続けられる就業機会を確保することにより、就業率を向上し退会抑制にもつなげる。

特に事務局での会員の入会から就業までの情報管理を一元化するとともに、未就業会員のフォローアップを随時行い、よりきめ細やかなマッチングにより就業機会の拡大に努める。

(5) 安全就業の推進

シルバー事業の根幹である安全就業をより徹底するために、各種安全講習会の開催、安全パトロールの実施、機関誌等による労働安全衛生の周知を通じ事故の未然防止に努めるとともに、万一の事故の際の検証会の開催などにより、安全意識の徹底と高揚を図り重篤事故発生の撲滅を図る。

3. 事業実施計画

① 会員拡大の推進

- ・全シ協「新たな仲間づくり計画」に呼応し、会員の増強を図る。
- ・女性委員会を主体とした各種イベントを通じ女性会員増強に取り組む。
- ・退会会員抑止のための未就業会員へのフォローアップ体制を充実する。
- ・ハローワークにおいて、シルバー出張相談コーナーを設置する。
- ・夫婦での入会を促進するため、夫婦会員の会費を軽減する。
- ・会員の紹介で入会した場合、紹介会員と新会員双方に粗品を進呈する。
- ・就業が困難となった永年登録会員に、ゴールド会員制度の周知を図る。

② 新契約方式への完全移行と定着

- ・4月からの新契約方式への移行にあたっては、法令を遵守し適正な事務を執行するとともに、発注者・会員への周知を徹底し、円滑な定着を図っていく。
- ・インボイス制度への対応を含む適正な経理処理を進める。

③ 就業機会の確保・拡充

ア 効率的な営業開拓の実施

- ・営業開拓部員により、地区や地域別、季節別、分野別等に企業や団体を細かく分類し、年間を通じた営業活動を行う。
- ・高齢会員、女性会員が安心して活躍できるよう就業環境を整備する。

イ 顧客ニーズの掘り起こしと拡大

- ・顧客満足度調査を継続実施し、顧客のニーズや実態を把握する。
- ・除草、剪定の予約受付実施により受注対応への効率化を図る。

④ 安全・適正就業の推進

専門事業部、委員会、役職員が一丸となり安全・適正就業対策を効果的かつ着実に実施し、センター会員の安全意識の高揚のための啓発活動を行う。

ア 事故防止対策の強化

- ・安全防具や用具類の着用並びに使用の徹底を図る。
- ・就業現場へのパトロールによる巡回指導を実施する。

イ 安全就業・安全意識の向上策

- ・安全運転講習会の対象者を拡大して実施する。
- ・事故検証会による事故原因等の分析を通じ事故再発防止の徹底に取り組む。

ウ 適正就業への取り組み

- ・ローテーション就業によるワークシェアリングを推進する。
- ・適正な就業環境づくりを推進する。

エ 衛生管理・健康管理

- ・産業医による会員、職員への健康・衛生指導を行う。
- ・機関誌「金木犀」を通して健康に関する情報を発信し、会員自らの健康管理や安全意識の向上を図る。
- ・猛暑日等の作業における安全対策について、SNSで会員に呼びかける。

⑤普及啓発事業

- ・センターの周知を目的に、一般向けの各種教室を開催する。
- ・センターが担う役割を周知し事業への理解と協力を得るため、普及啓発月間にシルバーフェスタを開催する。

⑥会員の研修・講習

- ・新入会員を対象とした接遇研修を実施する。
- ・後継者の育成及び技術向上を目的とした講習会を開催する。
機械除草、刈払機、襖障子張替、草むしり、庭木剪定、造園技能、
雪吊り、賞状書き、宛名書き、スマートフォンなど
- ・公共施設等管理業務従事会員に対する接遇研修を徹底する。

⑦金沢市営自転車等駐車場の指定管理業務

金沢市営自転車等駐車場 37 か所の指定管理業務を行う。金沢市と十分な協議を行うなど連携を密にして、サービスの一層の向上に努める。

⑧金沢市と連携する事業の推進

ア 高齢者生きがい就労推進事業

民間企業等で営業経験が豊富な者を就労推進員に選任し、積極的な企業訪問等により、高齢者のための就業開拓を行うことで、高齢者の就業機会の創出と就労を通して生きがいづくりを推進する。

- ・生きがい工房十一屋で行う業務（内職、襖障子貼り替え）

イ 高齢者の就業活動等支援「シニア世代就労応援プロジェクト推進事業」への協力

⑨組織体制の充実強化

- ・新契約方式への円滑な移行を完遂するため、各種研修等を通じた職員の資質向上に努め、法令遵守に基づく適正な運営を徹底する。
- ・適正かつ効率的な職務分担のもと、職員の意識改革を図り、各職員が連携し協力しながら業務を進めていけるよう、業務執行体制を充実強化する。
- ・会員ポータルサイト「Smile to Smile」の活用を広げ、会員への情報提供の迅速化を図るとともに、事務効率化を推進する。
- ・各専門事業部・地区連絡委員会の活性化に向けた検討を進める。

⑩連合会事業との連携・協力

- ・高齢者の就業機会の拡大を図るため、県連合会と連携し労働者派遣事業を推進する。
- ・会員、役職員に対する各種の研修会、講習会へ参加する。